



補助循環用ポンプカテーテル (J-PVAD) レジストリ事業へのご協力をお願い

この研究は、補助循環用ポンプカテーテルの使用状況や性能に関する情報等を把握し、得られた情報を解析することにより、生存率や予後の改善等に影響を与える因子の探索（解析）を行い、今後の心原性ショック等の急性心不全の病態にある患者の救命治療についての臨床評価や臨床管理などに役立てます。また、補助循環用ポンプカテーテルの臨床上的有効性と安全性を明らかにし、適切な安全対策を推進し、適正な使用の普及に役立てることを考えています。このため、補助循環用ポンプカテーテルを使用されたすべての患者さんのデータを収集させていただきます。

なお 研究への登録を希望されない場合は、担当医へお申し出ください。（申し出期間：2022年12月31日まで）

研究期間：2022年12月31日まで

対象：補助循環用ポンプカテーテル（PVAD/IMPELLA）を使用した患者さん

登録・観察内容

表 1. データ収集スケジュール

	病院 到着時	ベースライン 留置前)	補助中	抜去後	退院時	抜去後 30 日 (±10 日)
患者背景、入院情報		✓				
既往歴、現病歴、リスクファクター		✓				
心疾患の治療歴		✓				
IMPELLA 留置前の状態		✓				
IMPELLA が使用された手技の詳細		✓	✓	✓		
IMPELLA 使用理由		✓				
心不全の原因		✓				
IMPELLA 使用前の機械的補助循環装置の使用		✓				
追加の補助		✓	✓	✓		
血行動態パラメータ	✓ ¹	✓ ²	✓ ⁴	✓ ⁶	✓ ⁸	
IMPELLA パラメータ			✓			
IMPELLA 抜去時状態				✓		
患者状態					✓	✓
左室駆出率		✓	✓	✓	✓	
臨床検査	✓ ¹	✓ ³	✓ ⁵	✓ ⁷	✓ ⁸	
併用薬剤 強心剤/昇圧剤、心臓関連薬)		✓	✓	✓	✓	✓
有害事象、生存			✓	✓	✓	✓
製品不具合		✓	✓	✓	✓	

研究データの提供先

補助人工心臓治療関連学会協議会 IMPELLA（インペラ）部会

大阪大学 心臓血管外科 澤 芳樹

TEL: 06-6879-3151

【お問い合わせ先】

循環器内科、集中治療科、心臓血管外科

当院の研究責任者：心臓血管センター センター長 伊藤良明

神奈川県横浜市鶴見区下末吉3-6-1 045-576-3000（代表）